

令和元年度鹿児島県 クリーニング師試験問題（学科試験）

試験実施日：令和元年11月17日

指示があるまで開いてはいけません。

試験時間
10時20分～11時50分

試験科目	出題数
衛生法規	20問
公衆衛生	20問
洗たく物の処理	20問

〔受験上の注意〕

- 1 机の上の番号と受験番号を確認し、受験票を机の上に置いてください。
- 2 机の上には、鉛筆、消しゴム、時計等必要なもの以外は、置かないでください。
- 3 計算機、携帯電話等は使用できません。電源を切ってその他の荷物と一緒に机の下に置いてください。
- 4 試験開始から30分間は退出できません。30分経過してから退出される場合は、着席したまま手をあげて係員に知らせ、解答用紙が回収された後に、許可を得て静かに退出してください。
- 5 一度退出してからは、原則として再入場は認めないので注意してください。
- 6 解答用紙に受験番号及び氏名を記入し、解答は必ず解答用紙に記入してください。
- 7 試験問題は持ち帰って構いません。

【衛生法規に関する知識】

1 次の文章は、クリーニング業法について述べたものである。次の文章の（ ）の中に下記の語群から正しい語句を選び、その番号を解答欄に記入しなさい。ただし、同じ語句を複数回使用しないこと。

(5点×10問=50点)

- (1) この法律は、クリーニング業に対して、(ア)の見地から必要な(イ)を行い、もってその経営を公共の福祉に適合させるとともに、利用者の(ウ)の擁護を図ることを目的とする。(第1条)
- (2) 「クリーニング業」とは、(エ)又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は(オ)を原形のまま洗濯することを営業とすることをいう。(第2条第1項)
- (3) 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、(カ)に対し、洗濯物の(キ)について説明するよう努めなければならない。(第3条の2第1項)
- (4) クリーニング所を開設しないで洗濯物の受け取り及び引渡しをすることを営業としようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、(ク)、従事者数その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。(第5条第2項)
- (5) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、厚生労働省令で定めるところにより、(ケ)が厚生労働大臣の定める基準に従い指定したクリーニング師の資質の向上を図るための(コ)を受けなければならない。(第8条の2第1項)

(語群)

1 溶剤	2 染料	3 利用者	4 営業者
5 処理方法	6 営業方法	7 都道府県知事	8 市町村長
9 ゴム製品	10 皮革製品	11 公衆衛生等	12 労働衛生
13 講習	14 クリーニング師	15 利益	16 集客方法
17 研修	18 指導及び取締り	19 洗濯料金	20 国民経済

2 下記のクリーニング業及びクリーニング所に関する事項のうち、正しいものに○印、誤っているものに×印を解答欄に記入しなさい。

(5点×10問=50点)

- (1) クリーニング業法では、クリーニング所以外で営業として洗濯物の処理を行ってはいけないとされている。
- (2) 洗たく物の受取り及び引渡しのみを行う「クリーニング取次所」もクリーニング所である。
- (3) 洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機、脱水機及び乾燥機をそれぞれ少なくとも二台備えなければならない。
- (4) クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、六月以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- (5) 営業者は、営業者自身がクリーニング師であり、自らその営業施設でその業務に従事する場合であっても、別に1人以上クリーニング師を置かなければならない。
- (6) 法第5条第1項の規定により届け出た事項に変更を生じたとき、又はクリーニング所を廃止したときは、営業者は、厚生労働省令の定めるところにより、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。
- (7) 貸しおむつ、貸しおしぼり業などいわゆるリネンサプライ業は、クリーニング業である。
- (8) 洗場については、床が、不浸透性材料で築造され、これに適当な勾配と排水口が設けられていなければならない。
- (9) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、1月以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- (10) 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。

【公衆衛生に関する知識】

1 次の文章の（ ）の中に，下記の語群から正しい語句を選び，その番号を解答欄に記入しなさい。

(5点×8問=40点)

- (1) (ア)の者が利用する業態の営業であるクリーニング業は，公衆衛生の観点からは，(イ)等の拡大を予防するために十分な対策が必要な業態といえる。
- (2) クリーニング所は，洗濯物に様々な(ウ)を使い，その(ウ)に応じて法律の規制対象施設として規制を受けている。
- (3) (エ)が形成する芽胞は熱やアルコールには抵抗性があるため，極端に抵抗力の弱い患者が使用する病院リネンにおいては規定に基づいた(オ)をする必要がある。
- (4) テトラクロロエチレンは環境を汚染し，健康障害をきたすおそれがあることから，(カ)の有害物質に指定されているなど様々な法律で規制されている。
- (5) ランドリー処理の本洗いには，(キ)℃以上の水を使用することが望ましい。
- (6) 利用者から洗濯物を預かった際には，汚れの場所，種類，程度などを確認し，少しでも感染性の汚れの疑いや疑問のある洗濯物を預かった場合には，その地域を所管する(ク)等へ相談し，適切な対応を心がける必要がある。

(語群)

1	20	2	40	3	60
4	犯罪	5	セレウス菌	6	ノロウイルス
7	インフルエンザ	8	大気汚染防止法	9	水質汚濁防止法
10	保健所	11	警察署	12	労働安全衛生法
13	特定少数	14	化学物質	15	感染症
16	不特定多数	17	消毒	18	漂白

- 2 次のA群にもっとも関係の深いものをB群の中から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。ただし、同じ番号を複数回使用することはできません。
(5点×6問=30点)

【A群】

- (1) 建築基準法
- (2) 水質汚濁防止法
- (3) VOC
- (4) HFC
- (5) 生衛法
- (6) 労働安全衛生法

【B群】

- 1 有害物質使用特定施設
- 2 有機溶剤中毒予防規則
- 3 用途地域制限
- 4 オゾン層破壊
- 5 光化学オキシダント
- 6 Sマーク制度

- 3 次の文書のうち、正しいものに○印、誤っているものに×印を解答欄に記入しなさい。
(5点×6問=30点)

- (1) クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンや石油系溶剤などを含む廃油等の廃棄物は一般廃棄物に分類される。
- (2) PRTR制度とは特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく環境汚染物質の排出移動登録制度のことである。
- (3) 有害物質使用特定施設については、その施設の使用廃止の時点において、土地の所有者などは、土壤汚染の調査を実施して、その結果を都道府県知事に報告しなければならない。
- (4) ノロウイルスに係る吐ぶつやふん便が布団などのリネン類に付着した場合で、熱水洗濯が行える洗濯機がない場合には、次亜塩素酸ナトリウムの消毒が有効である。
- (5) 営業者は、常に従業員の健康管理に注意し、従業員が結核や感染性の皮膚疾患にかかったときは、営業者はこの旨を保健所に届け出ること。ただし、当該疾患が治癒した場合については届出る必要はない。
- (6) 洗濯機、脱水機、仕上げ専用の作業台、洗濯物を保管する設備又は容器及び集配容器は、毎年1回以上、消毒を行わなければならない。

【洗たく物の処理に関する知識】

1 次の洗濯絵表示について の中から正しいものをそれぞれ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

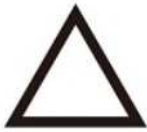
(5点×6問=30点)

(1)



- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 液温は30℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。 |
| 2 | 液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる。 |
| 3 | 液温は30℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。 |

(2)



- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。 |
| 2 | 酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白による漂白処理はできない。 |
| 3 | 漂白処理はできない。 |

(3)



- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 排気温度の上限は最高80℃で、洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。 |
| 2 | 排気温度の上限は最高60℃で、洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。 |
| 3 | 洗濯処理後のタンブル乾燥はできない。 |

(4)



- | | |
|---|----------------|
| 1 | つり干し乾燥がよい。 |
| 2 | ぬれつり干し乾燥がよい。 |
| 3 | 日陰でのつり干し乾燥がよい。 |

(5)



- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。 |
| 2 | 底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。 |
| 3 | 底面温度110℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。 |

(6)



- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | パークロロエチレン及び石油系溶剤でのドライクリーニング処理ができる。 |
| 2 | 石油系溶剤でのドライクリーニング処理ができる。 |
| 3 | ウェットクリーニング処理ができる。 |

2 次の文の()の中から正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。
(5点×6問=30点)

- (1) 各繊維素材には、標準的な仕上げ温度があるが、「アクリル」の場合は、(①200℃ ②150℃ ③110℃) である。
- (2) ランドリー工程で使用する漂白剤には、過炭酸ナトリウム、過酸化水素水、次亜塩素酸ナトリウムがあるが、(①次亜塩素酸ナトリウム ②過酸化水素水 ③過炭酸ナトリウム) は、作用が強く繊維をいためやすいので注意を要する。
- (3) (①レーヨン ②ナイロン ③ポリウレタン) は天然繊維を原料とする再生繊維である。
- (4) ドライクリーニングのチャージシステムは、ドライ溶剤中に(① 0.05～0.1% ② 0.5～1% ③ 5～10%) のドライソープを添加したドライ液で循環洗浄する方式のことである。
- (5) ウェットクリーニングは、純粋な水性汚れはほぼ除去可能だが、油性汚れはドライクリーニングの(① 5～25% ② 35～55% ③ 65～85%) 程度しか除去できない。
- (6) ドライ溶剤中の油性汚れや不溶性汚れがクリーニング中に洗濯物に付着するか吸着される状態を(① 吸着汚染 ② 再汚染 ③ 分散汚染) という。

3 次の文章の（ ）の中に，下記の語群から最も適当な語句を選び，その番号を解答欄に記入しなさい。ただし，同じ番号を複数回使用することはできません。

（5点×8問＝40点）

- (1) 市販の水溶性シミ抜き剤には，酸性のものとアルカリ性のものがあり，タンパク系のシミには（ア）のシミ抜き剤を使用する。
- (2) ウェットクリーニングは，ドライクリーニングが不可能な（イ）製品や耐ドライクリーニング性の無い樹脂を用いたプリント製品などが対象となる。
- (3) ランドリーにおいて，助剤として用いられる（ウ）はpHを（エ）に保つことで硬水を軟化し繊維や汚れを膨潤させるなどの働きによって洗剤の洗浄力を増強する。
- (4) 過炭酸ナトリウムは（オ）℃以上で効果を発揮する。（カ）に分解するので，生地を傷めることが少ない。
- (5) ドライクリーニングのみでは十分に除去できない汚れやシミは，主として（キ）である。
- (6) 皮革製品の仕上げを行うには人体プレス機を使うが，（ク）度で蒸気量を少なめにして短時間で処理する。

（語群）

1	2～3	2	10～11	3	60～70	4	100～120
5	20	6	40	7	塩化ビニル	8	絹
9	CMC	10	珽酸ナトリウム	11	急激	12	ゆるやか
13	アルカリ性	14	酸性	15	水溶性汚れ	16	油溶性汚れ

令和元年11月17日

令和元年度鹿児島県クリーニング師学科試験 解答用紙【回答入】

受験番号	
氏名	

【衛生法規に関する知識】

問1 (5点×10問=50点)

(1)			(2)		(3)		(4)	(5)	
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
11	18	15	1	10	3	5	6	7	17

問2 (5点×10問=50点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
○	○	×	×	×	○	○	○	×	○

【公衆衛生に関する知識】

問1 (5点×8問=40点)

(1)		(2)	(3)		(4)	(5)	(6)
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)
16	15	14	5	17	9	3	10

問2 (5点×6問=30点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
3	1	5	4	6	2

問3 (5点×6問=30点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
×	○	○	○	×	×

【洗たく物の処理に関する知識】

問 1 (5点×6問=30点)					
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
2	1	2	1	1	3

問 2 (5点×6問=30点)					
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
③	①	①	②	①	②

問 3 (5点×8問=40点)							
(1)	(2)	(3)		(4)		(5)	(6)
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
13	7	10	2	6	12	15	3